

## アサヒキャンプと出会って

K・K（小6女子保護者 2026年2月記す）

アサヒキャンプとの出会いは、知り合いのお母様からアサヒキャンプのことを教えていただいたことがきっかけでした。

当時娘は小学3年生で支援級に在籍していました。小4からは普通級に行っていたので交流の時間を増やすことにチャレンジしていましたが、交流授業中はふらふらと立ち上がったり、髪をずっと結び直したりと落ち着いて過ごすことができていませんでした。

小2まで進めてきた学年相応の学習も小3からはつまずき始め、私が間違いを指摘すると、娘は「わーっ」と怒り、答えを全部消してはまた書き直すことが毎回となり、「わーっ」となることを避けるために家庭学習を一緒にすることを辞めた時期でもありました。

そんないろいろ悩んでいるときに、学生カウンセラーさんが子どもに寄り添い、できることを褒めてくれる、認めてくれる場所があることを知りました。小3の終わり、2023年3月、「春の川のほとりキャンプ」から参加し始めました。

キャンプへの参加の動機は、小5の中津川のお泊りの練習と、「自分でやりたい」という気持ちが強かったので、できないときに「手伝ってください」が言え、サポートが受け入れられるようになってほしいという思いと、人と接することでコミュニケーション力の向上に繋がればと思ったからです。

小4になったばかりの4月のデイキャンプでは、みんなと一緒にの空間にいられず、別の場所へふらふらと出て行ってしまい、ほとんど参加できませんでしたが、学生カウンセラーさんがずっと娘のそばについてくれていたのをよく覚えています。（※この時の担当はアノネとサニーです。）

この3年間、アサヒキャンプの参加回数を重ねるうちにいろいろ変化がありました。

### ①部屋の中でふらふら

- 学生カウンセラーさんのお膝の上に座って参加
- 学生カウンセラーさんにもたれて参加
- 今では一人で座って参加できるように

### ②歌の時間になると別の場所へふらふらと出ていく

- みんなと一緒にの空間にいるがふらふらしている
- 今では学生さんの「何歌いたいー？」の問いかけに、手を上げてリクエストするまでに

### ③キャンプの発表会ではみんなと前に並べない

- 本番ではできなくてもグループ練習では発表ができた
- 今ではみんなと並んで発表ができるようになった

小6の後半になり、落ち着いてアサヒキャンプに参加できるようになったと感じています。

アサヒキャンプと出会って学校生活にも変化がありました。

小5の中津川では、みんなと過ごすというよりは、先生と一緒に2泊過ごせましたが、小6の修学旅行では、グループ行動でお寺を見学、お部屋でトランプゲームをするなど、仲間と過ごすことができるようになりました。

学校の休み時間では、一人で遊ぶから、小6ではトランプゲームなど仲間と遊ぶことができるようになりました。

夏休み明けには付き添いなく分団登校できるようになり、先月からは朝起きなくても自分で起きてくるようになったことは驚きで、私の心にも余裕ができました。

アサヒキャンプと出会って私の考え方にも変化がありました。

入学後からいつか普通級に行き、たくさんのお友達と接することで、人との会話のやりとりや、接し方を学んでいってほしいと思っていましたが、今は安心して過ごせるように環境を整えることが私のすべき役割であると強く思うようになりました。

そう思えるようになったのはアサヒキャンプと出会って、スタッフの方、学生カウンセラーさん、保護者の方のいろいろなお話をお聞きし、お子さんそれぞれにペースがあり、少しずつ、ゆっくりで大丈夫と思えるようになったからだと思います。

今娘は小学生が終わったら中学生、中学生が終わったら高校生、高校生が終わったら大学生になることが分かっていて、次は中学生になるという自覚が芽生えています。

最近では「今日の夜ご飯なあに？」と問いかけ、「ひつつきもつつきしよー！！」と手遊びしようとしてくれ、会話のやりとりと一緒に楽しめるようになりました。また行動の声かけに「ママ あっちいて」「見ないで」と、ちゃんとできるか見させてもらえないこともあります。

小学校を卒業し中学生になる自覚が心の成長に繋がっており、会話が少し増え、人との関わり方に変化が出始めたこのタイミングは、これから新たなステージに入っていくのだと感じます。中学校生活が落ち着いて過ごせるよう見守っていきたいと思います。

次もキャンプへ行くか聞くと「アサヒキャンプ行く！」が続き、3年が経ちました。

娘にとってアサヒキャンプは、憧れの2段ベッドで過ごせる場所であり、大好きなお友達に会える場所であり、学生カウンセラーさんが笑顔で迎えてくれ、できたことをたくさん褒めてくれる、安心して楽しく過ごせる場所になっているので「行く！」が継続しているのだと思います。

私にとっても保護者の方との繋がりは、とても安心感を与えてくれます。保護者の方とのお話は参考になることがたくさんあり、困りごとを話せる大切な場所です。アドバイスをいただきながら少しずつ前に進んでいきたいです。